

【テーマ4】 協同出版株式会社

「教師不足をはじめとした教師の人材確保に関する近年の課題への対応 ～教員採用選考試験の複数回実施に向けた試験問題の開発～」

調査の概要

◆課題認識

・大学3年生を対象とした試験問題を作成することと、「思考力、判断力、表現力等」を測る良質な問題の作成の両立をどのように調整するかが課題

◆調査研究の目的

・「思考力、判断力、表現力等」を測る良質な問題の作成

◆調査研究の方法

・全国の良問より、問題構成を検討する。

◆調査研究

・各教育委員会の問題作成担当者及び、文部科学省のご意向の反映

◆現状

・特に教職教養の問題は、知識問題となりがちである。

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

- ① 全国の出題問題を検討し、問題構成案を作成し、教員採用試験で問うべきポイントに沿った問題の作成を行う。
- ② 特に教職教養の問題において「思考力、判断力、表現力等」を問う良質な問題の検討を行う。

◆成果

単純な穴埋め問題のような問題は少なく、選択肢を文とすることで思考させる問題ができ、実施自治体様に選択して採用いただくバランスのとれた問題構成となった。

文部科学省をはじめ、各自治体の担当者のご確認、ご指摘をいただき、大きな出題ミスがなく令和5年12月17日（日）に実施できた。

平成30年6月15日に閣議決定した第3期教育振興基本計画（平成30年6月15日）においては、今後の教育政策の遂行に当たっては、客観的な根拠を重視した政策を推進することとしています。

このことを踏まえ、本事業の優れた調査研究の成果が説得力を持って全国的にも好影響を及ぼしていくためには、それぞれの事業の成果について客観的根拠（エビデンス）を示していただくことが重要であると認識しています。ついては、本成果概要においても、客観的根拠（エビデンス）を積極的に示していただきますようお願いします。

今後の課題

◆今回の問題と同質の問題の継続作成

・今回は過去問がなく、過去問の出題との重複を気にせず重要な部分が出題できた反面、次回以降の作問においては、いかに重複を避けた上で、試験問題として有意な出題ができるかが課題となります。